

まちづくりやこれからの道路整備に関するアンケートのお願い

日頃より、区政にご理解、ご協力をいただき、ありがとうございます。

このたび杉並区では、まちづくりやこれからの道路整備について、道路交通の現状・課題、地域において解決したい課題、賑わい創出等の新たなニーズを把握し、今後のまちづくりや道路整備を考える上での参考とさせていただくために、アンケートを実施いたします。

ご多忙のところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解のうえ、アンケート調査にご協力をいただきますようお願い申し上げます。

令和4年11月 杉並区

このアンケートは、12月23日（金）までにインターネットによりご回答ください。

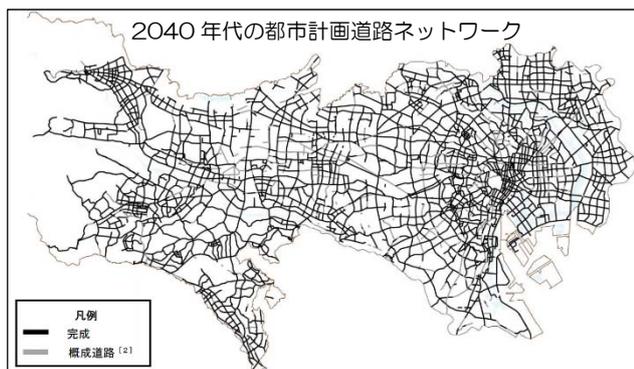
■以下に都市の交通、道路、まちづくりに関する説明がございます。

- この調査は杉並区と隣接する自治体（世田谷区、渋谷区、中野区、練馬区、武蔵野市、三鷹市）にお住いの方 1,000 名を対象にお送りしています。このアンケートは個人情報を収集するものではありません。結果は統計的に処理し、後日ホームページや広報により公表いたします。
- この調査についてのお問い合わせは下記までお願いします。
〒166-8570 杉並区阿佐谷南 1-15-1 杉並区役所 都市整備部 土木計画課 施設整備グループ 都市計画道路担当
電話 03-3312-2111 内線 3426
- この調査は大同情報技術株式会社に委託して実施しております。
〒166-0012 杉並区和田 3-54-5 大同情報技術株式会社
「まちづくりやこれからの道路整備に関するアンケート係」 電話 03-3316-8321

1. 都市計画道路とは

都市の交通やまちづくりなどを考えて、都市計画法に基づき計画される都市計画道路は、人々の生活にとって欠くことのできないものです。

道路の担う機能としては、人や物資等、都市における円滑な移動を確保するための「交通機能」や、災害時の防災性の向上や避難所へ向かう避難路を担う「都市防災機能」、都市構造や街区の形成等を担う「市街地形成機能」など、多様な機能を有する根幹的な都市施設です。



東京都（令和元年）「東京における都市計画道路の在り方に関する基本方針」より

2. 東京の都市計画道路

これまで都市計画道路を計画的、効率的に整備するため、将来の都市計画道路ネットワークの検証を行いながら、その必要性を検証し、東京都と特別区及び26市2町は共に連携しながら概ね10年間で優先的に整備すべき路線を定めた「事業化計画」を過去4回にわたり策定し、事業の推進に努めてきました。

都内には延長3,213km（平成29年度末時点）の都市計画道路が計画されており、特別区内は延長1,770kmで完成率は約66%となっています。そのうち、杉並区内の完成率は約49%で23区中22番目となっています。

3. これからの道路整備

現在、本格的な人口減少や超高齢化社会、首都直下地震等大規模災害の発生が懸念されています。これらの課題を克服し、明るい将来を築くために、最も身近な都市基盤である道路の今後はどうあるべきか、既存の枠組みにとられず、柔軟かつ大胆な発想をもって広く検討する必要があります。

また、近年、道路に対するニーズは多様化してきており、質の維持・向上が求められているほか、まちづくりと連携し、道路空間をより有効に活用する道路空間のオープン化が進められています。

さらに、歩行者と車両などが調和する環境の整備が求められるとともに、温室効果ガス（CO2など）削減に向けた環境対策として、グリーンインフラの整備や新たなモビリティの普及が求められています。

4. 都市計画道路をめぐる最近の状況

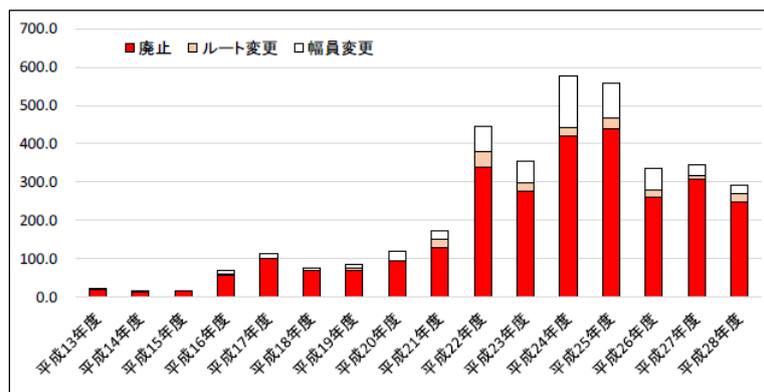
近年の人口減少・少子高齢化の進行、そして脱炭素などの気候変動問題等、まちづくりの方向性の変化により道路の必要性も変化してきています。そのため、未整備の都市計画道路について、将来の都市像、地域特性や社会情勢の変化を踏まえ、その必要性を検証し、計画の見直しなどの議論が全国的に進められてきています。

検証にあたっては、交通機能や防災機能としての必要性の検証はもとより、道路整備に係るまちづくりへの影響（整備の長期化、まち並みやコミュニティの分断など）、環境への影響、沿道住民の意向に関する実現性の検証等を行いながら進める必要があります。

限られた財政資源の中、効率的に事業を執行していくためにも、必要性の高い路線・事業の選択と集中を図る必要があります。この観点からも、都市計画道路の必要性の再検証が求められています。

	都市計画決定権者			廃止		ルート変更		幅員変更	
	都道府県	政令市	市町村	路線数	延長(km)	路線数	延長(km)	路線数	延長(km)
北海道	1	1	14	55	48.9	20	8.1	29	32.4
東北	6	1	38	267	320.4	31	26.1	42	108.4
関東	9	5	55	276	322.1	58	46.4	57	61.3
北陸	3	1	24	169	158.0	22	17.7	51	63.2
中部	4	3	42	214	243.0	23	16.6	51	49.8
近畿	7	4	86	796	1009.9	43	25.4	82	86.0
中国	5	2	28	177	164.2	28	15.8	67	51.3
四国	4	0	31	172	158.9	11	5.5	30	24.7
九州	7	3	61	373	440.2	26	30.6	50	66.5
沖縄	1	0	1	2	3.0	0	0.0	0	0.0
合計	47	20	380	2501	2868.60	262	192.0	459	543.6

都市計画道路（幹線街路）の変更・廃止状況（国土交通省調査：H29.3 速報値）



年度ごとの都市計画道路（幹線街路）の変更・廃止状況（国土交通省調査：H29.3 速報値）

5. 多様化するニーズに応える道路の柔軟な使い方

社会・経済情勢の変化に応じてますます多様化する道路空間へのニーズに伴い、まちづくりの将来ビジョンにおいて道路がどのような役割を果たすことが求められているのか、地域の状況やそれぞれの道路の役割を見据えつつ、求められる機能を道路ごとに分担する考え方や手法の整理が必要です。

さらに、従来の通行の機能に加え、賑わい空間の創出、安心・安全、新たなモビリティの通行に対応した機能が必要になるなど、「クルマ中心」から「ヒト中心」へのニーズが高まっています。

限られた道路空間を柔軟に使い分けるには、これまでのつくる目線の進め方ではなく、つかう目線を意識しながらの道路整備が必要となっています。

○ほこみち（歩行者利便増進道路）



（奈良市三条通り：国土交通省HPより）

○グリーンスローモビリティ



（琴平町コトコト感幸バス：国土交通省HPより）

【賑わい空間の創出】の事例

○ウォークアブルなまちづくり

居心地がよく歩きたくなるまちづくり

○ほこみち（歩行者利便増進道路）

地域を豊かにする歩行者中心の賑わいのある道路空間の構築

○エリアマネジメント

地域における良好な環境や地域の価値を維持・向上させるための、

住民・事業主・地権者等による主体的な取り組み



曜日や時間帯に応じて道路空間の使い方が変わる路側マネジメント

【新たなモビリティ】の事例

○グリーンスローモビリティ

電動で時速 20km/h 未満で公道を走る

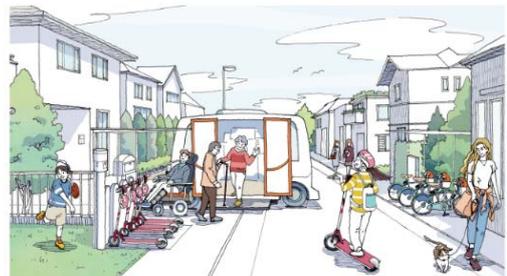
4人乗り以上の電動車

○中低速モビリティ

電動キックボードなど

○シェアリングサービス

自転車・電動キックボードなど



マイカーを持たなくても便利に安心して移動できるモビリティサービス

国土交通省(令和2年)「2040年、道路の景色が変わる」より

まちづくりやこれからの道路整備に関するアンケート

◆ご年代をお聞かせください。(当てはまるもの一つに○をつけてください)

1. 20歳未満
2. 20歳以上30歳未満
3. 30歳以上40歳未満
4. 40歳以上50歳未満
5. 50歳以上60歳未満
6. 60歳以上70歳未満
7. 70歳以上

◆どちらの地域にお住まいですか。(当てはまるもの一つに○をつけてください)

1. 世田谷区
2. 渋谷区
3. 中野区
4. 練馬区
5. 武蔵野市
6. 三鷹市

◆よく訪れる杉並区内の地域はどこですか。(当てはまるもの一つに○をつけてください)

1. 井草地域
2. 西荻地域
3. 荻窪地域
4. 阿佐谷地域
5. 高円寺地域
6. 高井戸地域
7. 方南・和泉地域
8. 杉並区にはあまり行かない



Q8. 今後のまちづくりについて、どのように進めていくべきだと思いますか。

(もっとも重要だと思う項目1つに○をつけてください)

1. 行政が主導的にまちづくりや道路整備を進める
2. ワークショップなど住民参加型のミーティングを取り入れながら進める
3. 専門家の意見や国内外の成功事例を取り入れ、地域の実情に合わせて進める
4. 説明会やオープンハウスなど情報発信や質疑応答の機会を増やししながら進める
5. 広報、ホームページ（特設サイト）、SNS等によりタイムリーな情報発信をしながら進める
6. その他（）

Q9. Q8で選んだ理由を教えてください。

アンケートは次で最後です。

Q10. その他、都市計画道路やまちづくりについてご意見やご要望などをお聞かせください。

アンケートは以上です。お忙しい中ご協力いただき、ありがとうございました。